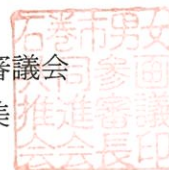


令和7年11月19日

石巻市長 齋藤 正美 殿

石巻市男女共同参画推進審議会

会長 熊 沢 由 美



令和6年度における石巻市男女共同参画基本計画の進捗に関する成果に対する意見及び評価について(答申)

令和7年7月25日付け石地振第83号によって諮問されたこのことについて、本審議会において審議いたしましたので、石巻市男女共同参画推進条例第21条第2項の規定に基づき下記のとおり答申いたします。

記

## 1 令和6年度取組実績・成果に対する評価

### (1) 基本目標(6項目)の取組成果 ⇒『概ね妥当』

- 各基本目標に対する評価項目のうち
- |          |     |     |
|----------|-----|-----|
| ① 「推進」   | ・・・ | 2項目 |
| ② 「やや推進」 | ・・・ | 0項目 |
| ③ 「現状維持」 | ・・・ | 4項目 |
| ④ 「後退」   | ・・・ | 0項目 |

#### ①「推進」と評価する項目(2項目)

《基本目標3「働く場における女性の活躍推進に向けた環境の整備」》

- ・「市の男性職員の育児参加休暇等取得割合(3日以上)」については、昨年度から約15ポイント上昇した。妊娠期から夫婦で講座に参加するケースも増え、育児期の早期から地域や支援につながる環境が整いつつある。庁内では、職場への迷惑をかけることへの懸念が依然あるものの、休暇取得に向けた環境改善は進み、今後も取得率向上が見込まれることから「推進」と評価する。

《基本目標4「家庭生活における男女共同参画の実現の促進」》

- ・基本目標4における評価項目については、「病児保育の利用年間延人数」及び「放課後児童クラブの実施箇所数と受入定員」の減少はいずれも需要減少や再編によるもので、必ずしも悪い傾向ではない。
- ・「休日保育の実施箇所数と受入定員」については前進があり、総合的に見て「推進」と評価する。

#### ②「現状維持」と評価する項目(4項目)

《基本目標1「政策形成及び方針決定の場への女性の参画の推進」》

- ・「審議会・委員会等への女性委員の割合」について、昨年度と比較すると登用状況0%の委員会等が2件増加している。今後は、委員会等に女性の視点を積極的に取り入れる取り組みを強化していただきたい。



- ・「審議会・委員会等への女性委員の割合」について、実績値は若干伸びているものの、「女性人材リストにおける審議会等へ登用された委員の割合」については、昨年度と同水準であり、「市の管理的地位にある職員に占める女性の割合」については、前年度を下回ったことから「現状維持」と評価する。

#### 《基本目標2「地域・学校における男女共同参画の推進」》

- ・「男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合」など基本目標2における評価項目については、昨年度と比較して同水準か低下していることから「現状維持」と評価する。
- ・「性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っている人の割合」については、若年層ではSNS等を通じて浸透が進んでいると考えられるが、高齢層への周知方法について更なる工夫を検討していただきたい。

#### 《基本目標5「男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援の推進」》

- ・評価項目は全項目とも目標値100%を設定しているが、実績値との乖離があり達成には至っていない。
- ・取り組みは継続的に行われているが、数値向上には至っていないため、「現状維持」と評価する。
- ・今後も地道な取り組みが必要であり、商業施設等でのカード設置やSNS等を利用し周知強化を図っていただきたい。

#### 《基本目標6「地域の防災における男女共同参画の推進」》

- ・「石巻市防災会議の委員に占める女性の割合」については、目標値に至っておらず、「毎年新たに資格を取得した防災士に占める女性の割合」については、目標値を達成したものの前年度より数値が低下していることから「現状維持」と評価する。

### (2) 令和6年度取組実績・成果に対する審議会意見

令和6年度の成果として、前年度と比較し実績値が後退している項目が一部あったものの、着実に実績を伸ばしている項目もあり、目標の達成に向け全庁的に様々な取組を実施されていることから、全体的な評価として「概ね妥当」と評価する。

## 2 今後について

令和6年度の評価は、6つの基本目標のうち4つが「現状維持」となる比較的厳しいものであったと思う。しかし、地道な取り組みが継続的に行われていることは評価したいし、今後も継続してほしい。「審議会・委員会等への女性委員の割合」や「セクハラ又はDV被害に遭った時の相談窓口を知っている人の割合」などの項目は毎年のように指摘があり、継続的な取り組みに加えて、新しい取り組みについても積極的に検討していただきたい。